

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の治療薬「イベルメクチン」の臨床試験による証明の1ページの要約

イベルメクチンは抗寄生虫薬であり、2015年にその発見者がノーベル賞を受賞した。イベルメクチンは臨床試験を通して、非常に強力な抗ウイルスかつ抗炎症の特性を有することが証明されている。過去4か月間で、世界中の多くの国や医療施設で比較対照臨床試験が実施されたが、イベルメクチンによる治療を受けた新型コロナウイルス（COVID-19）患者の転帰は一貫して大幅な改善がみられたと報告されている。これらの比較対照試験の包括的な科学的レビューは、Open Science Foundation（オープン科学財団）のプレプリント・サーバーをご覧ください。<https://osf.io/wx3zn/>.

イベルメクチンの特性

- 1) イベルメクチンは、SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）やインフルエンザを始めとする多くのウイルスの複製を阻害する。
- 2) イベルメクチンは、複数の阻害の作用機序を有するため、強力な抗炎症作用がある。
- 3) イベルメクチンは、動物モデルにおいて、ウイルス量を減らし、臓器の損傷から保護する。
- 4) イベルメクチンを新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の曝露前または曝露後に投与した場合、伝染を防ぐことができる。
- 5) イベルメクチンは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者の回復を早め、入院死亡率を低下させる。
- 6) イベルメクチンが広範囲で使用されている地域において、致死率を大幅に下げる。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するイベルメクチンの有効性を裏付ける証拠（2021年1月11日現在）

(RCT = 無作為化比較試験, OCT = 観察比較試験)。すべての臨床試験において RCT と OCT の同規模の試験における結果報告が同じ方向性を示したという点で、イベルメクチンは効果があるということが示されている。また、ほぼすべての結果において統計的に有意であった。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防に対する比較対照試験（8件の試験が完了）

- 3回のRCTで合計774人の患者において、伝染率が統計的に有意かつ大幅に減少した
- 5回のRCTで合計2,052人の患者において、伝染率が統計的に有意かつ大幅に減少した

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に感染した早期段階の患者と入院患者の双方の治療における比較対照試験（19回の試験が完了）

- 5回のRCTで合計774人の患者において、回復までの時間と入院期間が大幅に短縮した
- 1回のRCTで合計363人の患者において、悪化/入院率が統計的に有意に減少した
- 2回のRCTで合計85人の患者において、ウイルス量、無嗅覚症の日数、咳の症状が有意に減少し、回復までの時間が大幅に短縮した
- 3回のRCTで合計695人の患者において、死亡率が統計的に有意かつ大幅に減少した
- 3回のOCTで合計1,688人の患者において、死亡率が統計的に有意かつ大幅に減少した

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を治療するイベルメクチンを対象とした既存の臨床試験における試験と患者の数

- 合計6,612人の患者を対象にした27回の比較対照試験が、類似した対照群を使用して終了した
- 2,500人以上の患者を対象にした16回の試験が、前向き、無作為化の比較対照試験であった
- 3,900人の患者を対象とした27回の試験のうち11回の試験が査読付きジャーナルに掲載され、残りはプレプリントである

フロントライン 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）クリティカルケアアライアンス - 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）におけるイベルメクチンに関する推奨事項

分析を16回の無作為化比較試験（合計2,500人以上の患者）に限定しても、大多数の患者において、伝染、疾患の進行、および死亡率の統計的に有意な減少が報告された。さらに、独立した研究コンソーシアムにより最近行われたメタアナリシスの計算によると、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対してイベルメクチンの効果はないとする可能性は、6700万分の1であった。¹

FLCCCアライアンスは、COVID-19のすべての段階の予防と治療の双方に対するイベルメクチンの使用において、すべての既存の証拠に基づき、A-Iの推奨事項をサポートする（NIHの研究評価制度; 高レベルで質の高い証拠）

さらに、すべての規制当局が、上記の試験を詳述した原稿と、イベルメクチン配布プログラムの開始後に多くの都市や地域で人口全体を対象に行った「自然実験」を確認することを推奨する。²イベルメクチンを広範に使用した地域では、症例と死亡率はパンデミック前の数値近くまで有意に減少した。これらの地域における結果で明らかのように、イベルメクチンはパンデミックの収束を達成する上で明らかに不可欠な治療薬の成分である。

¹ ivmmeta.com

² Kory P, Meduri GU, Iglesias J, Varon J 他。2020。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防および治療薬であるイベルメクチンの有効性を実証する新たな証拠の見直し。Open Science Foundation. <https://osf.io/wx3zn/>